

2) 地球規模課題対応国際科学技術協力事業 防災分野

2) - 1 ペルーにおける建物耐震性の向上

研究期間（平成 21～26 年度）

[担当者] 向井智久, 谷昌典

科学技術振興機構（JST）と国際協力機構（JICA）による地球規模課題対応国際科学技術協力事業「ペルーにおける地震・津波減災技術の向上」（研究代表者：山崎文雄 千葉大学教授，ペルー側研究機関：CISMID（日本・ペルー地震防災研究所））が実施されている。向井，谷は，同事業の 5 つの研究グループ（1：地震動予測と地盤ゾーニング，2：津波予測と被害軽減，3：建物の耐震性向上，4：空間基盤データ構築と被害予測，5：地域減災計画）のうちグループ 3 に参画している。平成 26 年度は，5～6 月にペルー側カウンターパートの日本・ペルー地震防災センターを訪問し，本事業により供与された構造実験装置を用いた枠組積造壁の構造実験の技術指導を行った。また，併せて，現地で開催された地震防災シンポジウムにおいて日本の構造設計における課題と研究の状況に関する講演を行った。なお，実験の実施にあたっては，ペルー側研究者とはウェブ会議などで連絡を取り合いながら連携して研究を実施した。